

## 第7次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 医療機関名：医療法人社団 明雄会 北所沢病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県所沢市下富 1270-9
- 3 整備する病床の機能・数

【変更後】 整備計画病床 35 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般病床	地域包括ケア病棟入院基本料 I	35
計	—	—	—	35

\*回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

【変更前】 整備計画病床 35 床

医療機能*	病床機能報告区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
回復期機能	回復期	一般病床	地域包括ケア病棟入院基本料 I	35
計	—	—	—	35

## 見直しに当たっての考え方、変更後病床数の根拠

## 1. 変更後病床 年間稼働ベッド数

本計画の病床数 35 床 × 年間 365 日 = 12,775 床（年間稼働ベッド数）

## 2. 病床数の根拠

## 1) 急性期病院からの入院・・・A

昨年、当院が転院により患者を受け入れた医療機関先は延べ 36 医療機関・83 名となり、現在、当院は急性期病院を中心に医療連携を図っております。その中で急性期治療が終了したものの、引き続き、継続的な治療が必要な患者の受け皿が少ないとの声があり、具体的に各医療機関に地域包括ケア病床の必要性をヒアリングして集計した結果、近隣の医療機関（患者の受入見込み参照）からの入院を月 27 人見込んでおります。

**【医療機関】**

27人／月×12ヵ月＝324人／年

2) 介護保険施設からの入院・・・B

所沢市内には17か所の特別養護老人ホーム、7か所の介護老人保健施設が運営しております。関連施設の介護老人保健施設エスポワール所沢では月2名程度、肺炎や尿路感染等の地域包括ケア病棟でも入院・治療が可能な入所者が急性期の医療機関に入院する現状があり、その関連施設の実績値を勘案して、地域包括ケア病棟でも対応可能な入所者を当院が受け入れたと仮定して、入院者は月2人を見込んでおります。

**【介護保険施設】**

2人／月×12ヵ月＝24人／年

3) 自宅及び、外来からの入院・・・C

地域包括ケア病棟の運営に伴い、当院の入院後に退院支援をして地域に戻られた方の外来受診等が増えることを見込んでおります。外来患者の4%（近隣病院の実績値を参考）が入院すると仮定して、前年度の外来患者実績414人を基に算出して年間16人の入院者を想定できますが、実際の入院者数を想定することは難しいため、現状の外来患者数を参考にして月1名を計上させて頂きました。

**【外来及び自宅】**

1人×12ヵ月＝12人／年

3. 見込み年間稼働ベッド数

(324人(A) + 24人(B) + 12(C)) × 36日＝12,960人≒12,775床

○平均在院日数の根拠

近隣の地域包括ケア病棟の平均在院日数を参考に、今後の当院の方向性を勘案した結果、36日に設定しております。

- ・ 埼玉西協同病院 約36日
- ・ 大生病院 約46日

上記の通り、地域の医療機関や介護保険施設にヒアリングした結果、地域包括ケア病棟増床後の連携先は医療機関9割、介護保険施設及び自宅1割を見込んでおり、基本的には近隣の医療機関を中心に連携を図る予定です。本計画35床の申請病床数については過不足無く利用可能と判断いたします。

#### 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 2 年 2 月
2	建築（着工）	令和 2 年 3 月
3	建築（竣工）	令和 3 年 2 月
4	医療従事者の確保	令和 2 年 7 月
5	使用許可（医療法）	令和 3 年 3 月
6	開設（増床）	令和 3 年 4 月

#### 5 整備方針、目標

##### ○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

所沢市の 65 歳以上の人口は 91,666 人（平成 31 年 3 月末現在）となっておりますが、現在、所沢市内で運営している「地域包括ケア病棟」は 3 病院にとどまり、病床数としては 113 床のみとなっております。その環境下で急性期治療が終了したものの、在宅や施設へ移行するには不安がある患者の転院先の選択肢が少なく、実際、介護保険施設に入所したのち病状の悪化により、直ぐに紹介元の病院に戻るケースもございます。そのような急性期治療が終了したものの引き続き治療が必要な患者や、また、発症から時間が経過していたり、病名等で「回復リハビリテーション病棟」への入院条件が一致せず、入院できない患者に対しても当院が受け皿となり積極的に受け入れ、継続的な治療や在宅復帰を見据えた指導・援助を提供し、急性期病院から自宅・施設までの掛け渡しをすることが当院の役割と考えております。

また、実際に地域包括ケア病床を運営する際には、事前に近隣の連携医療機関及び、介護保険施設等と、「地域から求められる地域包括ケア病棟の在り方」について意見交換をさせて頂き、今後の病棟運営に反映させてまいります。

##### ○新たに担う役割

当院が所在している所沢市富岡地区は 40 年ほど前の大規模な開発により住宅地を形成し現在に至っております。そのような経緯の中で地域の高齢化が急速に進んでおり、現在、所沢市では地区計画の導入を検討し地域の活性化を図っておりますが、介護保険施設が高齢者の病状の改善から日常生活までの支援を行うことは困難であり、「地域包括ケアシステム」の更なる拡充が医療機関・介護事業所に求められている現状がございます。当院の所在地である所沢市下富には病院が当院しかなく、当院は地域の医療機関として現状よりも幅広い患者層の受け入れが必要であると考えております。そこで、新たに地域包括ケア病棟を運営することにより、近隣のクリニックの紹介や介護保険施設から入院、居宅介護支援事業所からの入院相談、もしくは、外来患者からの入院等の対応を今まで以上に可能とし、「急性期治療の継続」、「在宅患者の状態悪化時の受け入れ」、「在宅復帰支援」の役割を新たに担い地域医療に貢献していく所存でございます。

### ○将来の方向性

所沢市の年齢別人口調書によると、現在の所沢市の人口分布は45歳以上49歳未満が最多で、今後益々所沢市内の少子高齢化が進むことが見込まれており、地域住民が安心して地域に住める医療体制の構築が不可欠となっております。

その中で、当院が「地域包括ケアシステム」の一助になるべく、医療レベルを現状の慢性期から回復期のレベルまで引き上げて、本来の病院機能である「患者を治して、地域に返す」というサブアキュートとポストアキュートの役割を果たしていきたいと考えております。当院は慢性期病院として高齢者医療を専門分野として参りましたが、引き続き、その高齢者医療に注力していきながらも、単に高齢者ということで治療を諦めるのではなく、高齢者であっても生活を維持できる可能性があるのであれば治療して地域に戻って頂くことも模索していき、積極的にQOLを高める取り組みを目指してまいります。そして、地域と医療機関、介護保険施設等を繋ぐ中心的な役割を果たしたいと考えております。

### ○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

現在、当院は医療療養病床のみの運営となり、急性期治療の終えた患者の継続的治療やリハビリテーションについては対応出来ていない現状がございます。今後、地域包括ケア病床を運営することにより、現状の慢性期疾患を抱えた患者の中長期的な入院のみならず、近隣の急性期病院からの継続的な治療や、外来患者からの入院、近隣の介護保険施設等からの病状が悪化した患者に対しても対応が可能となると考えており、可能な限り受け入れ基準も広げて「在宅復帰からお看取まで」の幅広い対応をしていながら、より地域に根ざし、貢献できる病院になれるよう取り組んでまいります。



- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・三芳の森病院</li><li>・エスポワール所沢</li><li>・はたなかクリニック</li><li>・わかさクリニック</li></ul> |
|--|--|

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
療養病棟	96 床	慢性期	320.3 日	95.3%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
<b>診療科</b>				
内科、皮膚科、リハビリテーション科、				
<b>診療実績</b>				
○呼吸器リハ 10 名、運動器リハ 27 名、脳血管疾患等リハ 93 名、 摂食機能療法 19 名				
○連携先 ※前年度実績				
1) 受入先		2) 転院先		
所沢中央病院	15 人	大生病院	3 人	
三芳野病院	9 人	所沢中央病院	2 人	
埼玉西協同病院	8 人	所沢明生病院	2 人	
イムス三芳総合病院	4 人	埼玉西協同病院	1 人	
埼玉石心会病院	3 人	西埼玉中央病院	1 人	
明生リハビリテーション病院	3 人	三芳の森病院	1 人	
圏央所沢病院	2 人	並木病院	1 人	
狭山中央病院	2 人	エスポワール所沢	3 人	
所沢明生病院	2 人	飛鳥野の里	2 人	
エスポワール所沢	5 人	その他 有料老人ホーム	2 人	
その他 医療機関	35 人			

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	2	20	3.13	1	1	0.5
看護師	23	12	6.91	15		
その他	40	33	16.01	14		
計	65	65	26.05	30		

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）</p> <p>■医師            当院で勤務している医師の友人や同窓生を中心に採用活動を進めてまいります。また、場合によっては法人内の病院より異動も視野に入れて検討する予定です。</p> <p>■看護師            一般公募で行い地域からの採用活動を進めてまいります。また、当院では奨学金制度が導入されており、毎年、看護学校の奨学生が資格を取得しておりますので、引き続き、自施設でも独自に看護師の確保を図ります。</p> <p>■看護助手            一般公募にて地域からの採用を進めてまいります。</p> <p>■薬剤師            一般公募にて地域からの採用を進めてまいります。</p> <p>■PT、OT、ST            関連施設（エスポワール所沢、三芳の森病院）からの異動や、関連施設に在職中の職員の出身校へ求人活動を行い採用を進めてまいります。</p> <p>■その他            一般公募にて地域から採用を進めてまいります。</p>
--

8 医療（介護）連携における課題、問題点

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

現状、慢性期医療機関に入院した場合、家庭環境等で在宅への移行が非常に難しい状況となっております。そのため、地域の介護支援専門員との連携状況についても十分とは言えず、今後、慢性期病床のあり方を再度検討して、慢性期の病床であっても、地域に戻る可能性がある患者は、可能な限り戻って頂けるような取組が必要であると考えます。